

第 2 1 3 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 7 年 5 月 2 2 日 (金) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 5

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 井野瀬 久美恵、花木 啓祐

(第一部) 小森田 秋夫、杉田 敦、小松 久男、恒吉 僚子

(第二部) 長野 哲雄、石川 冬木

(第三部) 相原 博昭、土井 美和子、川合 眞紀

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 千葉 明

(課長等) 吉住 啓作、水野 孝美、井上 示恩、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 東日本大震災復興支援委員会分科会における小委員会委員 (1 小委員会) を決定した。

(2) 科学と社会委員会運営要綱の一部改正 (廃止 1 件) を決定した。

○廃止

・科学と社会委員会 政府、社会及び国民等との連携強化分科会

(3) 国際委員会運営要綱の一部改正 (新規設置 1 件) 及び小分科会委員 (1 小分科会) を決定した。

○新規設置

・国際委員会 G サイエンス及び ICSU 等分科会 G サイエンス学術会議 (2016) 対応小分科会

(4) 分野別委員会運営要綱の一部改正 (新規設置 2 件、名称の変更 2 件) 及び委員会等委員 (2 委員会、14 分科会、3 小委員会) を決定した。

○新規設置

・法学委員会 法学分野における国際交流のあり方を考える分科会

・経営学委員会 経営学分野における研究業績の評価方法を検討する分科会

○名称の変更

・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 進化学分科会

・情報学委員会 IT メディア社会基盤・メディアアーカイブ分科会

(5) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会設置要綱の一部を改正し、同委員会の設置期限を延長することを決定した。

(6) 東日本大震災復興支援委員会汚染水問題対応検討分科会が現地調査を実施することを承認した。

(7) 提言「未来を見すえた高校公民科倫理教育の創生ー考える「倫理」>の実現に向けてー」について、第一部の小森田部長より、第 212 回幹事会での議

論を踏まえた、その後の調整結果の説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

- (8) STS フォーラム ASEAN-Japan Workshop に連携会員を派遣することを決定した。
 - (9) 国際連合総会における非政府組織等のヒアリングに連携会員を派遣することを決定した。
 - (10) フューチャー・アース統治審議会、連携委員会、科学委員会合同会合に会員等を派遣することを決定した。
 - (11) 平成 27 年度代表派遣について、実施計画に基づく 7-9 月期の会議派遣者を決定した。
 - (12) 日本学術会議協力学術研究団体の指定 (1 団体) を承認した。
 - (13) 11 件のシンポジウム等の開催、1 件の国際会議及び 3 件の国内会議の後援を決定した。
- 3 その他事項として、科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会の小松委員長から、「サイエンスアゴラ 2015(10 年記念年次総会)」の公募企画募集について情報提供があり、その後、学術会議の対応について意見交換を行った。また、今後の幹事会の開催日程について確認を行った。
- 4 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 分野別委員会における分科会委員 (特任連携会員) (4 分科会) 及び小委員会委員 (8 小委員会) を決定した。
特段の事情を考慮し、臨床医学委員会出生・発達分科会に、複数名の特任連携会員が任命された。
 - (2) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会における委員会委員の任期を延長することを決定した。
 - (3) 平成 27 年度代表派遣 7-9 月期の会議派遣者に関連し、国際業務に参画するための特任連携会員を任命することを決定した。